楽西

～ らくさい ～
No.118
平成 29 年
8 月 10 日発行

社会福祉法人
京都視覚障害者支援センター
〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-67
TEL:075-333-0171/FAX:075-333-0172
✉→info@kyo-ssc.com　URL→http://www.kyo-ssc.com/

多様性を尊重する―平和の原点

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター
理事長　野村武夫

私の尊敬する阿部志郎先生は、かつて横須賀キリスト教社会館館長として地域福祉の発展に貢献されたほか、元日本社会福祉学会会長として日本の社会福祉の発展に寄与された方である。先生はある講演で、「日本の歴史において不幸なことは、同質性を重んじて異質なものを排除してきたことである。これは日本社会の罪である」と話された。

私たちは現実の社会の中で異質なものを排除してきたし、今も排除している。自分とは違う価値観や思想を持つ人、自分とは違っている人を避けたり、疎んじたりすることは日常茶飯である。

違いが認められないところに差別が生じ、差別は排除につながる。同質な人々が多い社会では異質なものは少数者とされ、常に排除の対象になりやすい。そして少数者は差別を受け、人としての尊厳を奪われ、人権を侵害され、不当で非人間的な扱いを受ける。

人種差別、部落差別、障害者差別、いじめ、特定の疾患（例えばハンセン病）の患者差別など、あげたらきりがないほどである。阿部先生の言う通り、異質なものを排除することで人を苦しめ、不幸にすることは社会の罪である。

異質なものを排除することで社会の安定を図ろうとするのは、何も日本に限らない。しかし、人間はみな違っていてあたり前で、違っていてもお互いをかけがえのないものとして理解する、要するに多様性を尊重して共存することがない限り、本当の平和は実現できないのではないかと思う。これは原発廃棄、核兵器廃絶よりもっと困難であろう。

多様性を尊重する社会は寛容で住みやすい社会となる。違いを理解し、尊重し、互いに大切な存在として認め合い、人権を大切にする住みやすい社会を作っていくことは、困難であっても成し遂げなければならない人類全体の課題である。

事 業 所 だ よ り

盲人ホーム　美鈴

盲人ホーム　美鈴　（はり・マッサージ）
〒603-8161 京都市北区小山北大野町 61
☎075-491-0184
〈受付時間〉9:00～17:30
〈治療時間〉9:00～19:00
〈 休　日 〉月曜日・祝日・GW・お盆・年末年始

美鈴は今年で35周年を迎えました！

「美鈴」は、1982 年 4 月に開所し、三療を志す視覚障害の就労支援をしてまいりました。
4 月から、新星、藤岡鉄児さんが加わり、現在６名（男性３名・女性３名）で、日々、技術向上を目指し研鑽を重ねています。
「チームワーク」を大切に、お互いカバーし合い、また、個人の良い所を発揮出来る様、全員で取り組んでいます。
笑顔のたえない美鈴に足を運んでみてください♬

4 月から新しく仲間に加わりました！

藤岡鉄児です。34 歳です。
京都府南丹市園部町から来ました。鉄ちゃんでないてっちゃんと覚えてもらえればと思います。今、美鈴で再就職に向けて頑張っています。
趣味は、音楽鑑賞、パソコン、ネット通販での買い物、車や家電製品、ケータイなど新製品情報の収集です。
コミュニケーションが少し苦手で話をするのは得意な方ではありませんが、時々笑いをとりにいったりするのは得意です。よろしくお願いします。

●●●美鈴の研修について●●●

盲人ホームでの研修の中心は、施術料を頂いて実際に患者さんの治療をすることです。
技術向上を中心に、就労や開業に必要と思われる実務を柱に研修を組み立てています。

●●●主な研修項目●●●

- 治療を行う上で身につけておくべき医学的知識と問診力・技術を身につける
- コミュニケーション力
- パソコンでの予約・カルテ・集計管理

●●●研修目標・感想●●●

●奥田海香さん

私は美鈴で、患者さんとのコミュニケーションの取り方を課題にして頑張っています。慣れてはきていますが、まだ過度に緊張をする事があるので、どんな場面でも落ち着いていけるようにしたいです。

将来はどのような職場かは決めていませんが、就職を目指しています。

●乾直樹さん

美鈴でお仕事をさせていただくようになってから、2 年が経過しました。この 2 年間で患者様や先輩方と接する時の態度や言葉遣い、自分のことだけではなく、周りを見て物事を判断することの大切さといった基本的なことから、盲学校での臨床と違って、患者様はこちらをプロとして見ておられることなど多くのことを知り、またたくさんの施術をさせていただくことで、コピーのように全く同じお体の方はおられないことを学びました。今後もまだ多くのことを学ぶことになるかと思います。不安もありますが、負けずに頑張っていきたいと思います。

●藤岡鉄児さん

美鈴での研修を通して、これまでの経験を思い出すとともに、これまで以上に活躍できるマッサージ師を目指していこうと思います。目標は再就職です。すぐに見つかるかはわかりませんが、今は目の前のことに集中しつつ、他の人とも仲良くやっていけたらと思います。

●伊達紗也加さん

4 月から朝礼の時間に勉強会が始まり、みんなで情報を交換しながら治療での疑問を解決したり、新たな健康に関する知識を得たりと、自分の引き出しが一つずつ増えているのを感じます。将来は一つの技術や知識にとらわれず、治療の視野を広げて柔軟に対応出来る治療家を目指しています。

●河原林すなほさん

患者様の主訴を、全身的に捉え、東洋医学・生理学・解剖学的に洞察し、病態を改善すると共に、内面的ニーズを満たし、患者様の QOL 向上を目指し、鬼塚先生のご指導下、研修に励んでおります。

将来的には、社会貢献出来る、臨床師に、なりたいです。

●天見美幸さん

患者様が健康で、生活のクオリティーをあげられるように、その方に必要な情報を提供するように努めています。 現在、肩こり・座骨神経痛の患者様、腰部はりかんや脚の冷えや、内臓疾患に伴う下肢のむくみなどのマッサージをしています。最近、感じることは、下肢の循環が改善することで、主訴はだいたい解消します。

あんなこと♪こんなこと♫

洛西寮・洛友会合同企画
「丹波さくらんぼ園」

今年度の春の行事も「洛友会」の協力の下、６月２日（金）に実施しました。

当日は天候にも恵まれ、利用者３５名、ボランティア１６名、職員・実習生１５名の６６名の参加となり、観光バス１台と公用車１台で出発しました。

午前中は車内で自己紹介をし、１回の休憩を経て昼食の目的地・丹波篠山「ささやま玉水」へ。今回の昼食は豪華に「丹波牛すき焼き御膳」を頂きました。物足りない方もおられた様子で、「おかわりがしたい」「お肉が美味しかった」との声も上がっていました。食後は各々売店で産地のお土産を買われていた方も多かったようです。

午後は初めての「さくらんぼ狩り」。過去の行事や旅行での味覚狩りでは「食べ放題」が多かったこともあり、みなさん初めは「食べ放題」と期待していたようですが、そこは流石に高級果物！食べ放題ではありません。しかし、農園に入ってすぐに、綺麗なさくらんぼを二粒試食させて頂きました。そして、もぎ方の説明等を聞き、いざ！さくらんぼ狩りへ。園内は多少足場が悪い箇所もありましたが、手を伸ばせば届き、みなさんハサミを片手に確認したさくらんぼを採られていました。

無料のお持ち帰りは 100ｇ程度で、数もだいたい１５～１６粒と説明を受けていましたが、最後の計量時には農園の方のサービスで、みなさんそれ以上のものを持ち帰ることができました。

朗読ボランティア・洛友会合同企画
「七夕会・茶話会」

７月７日（金）、洛西寮の４階ホールにおいて盛大に七夕会が行われました。今回は事前にみんなで笹飾りをして、思い思いに短冊に願い事を書きました。みなさん見ていただけたでしょうか？

今年度、洛友会会長に初めて就任した李さんの挨拶から始まり、朗読ボランティアによる出しもの「365 日のスプーン」「三年峠」があり、歌の部分では利用者も一緒に口ずさんでいました。

それから恒例になってきましたが、利用者のピアノ演奏によるイントロクイズが行われました。今年は童謡や唱歌ではなく POP な曲が多かったためか、なかなか正解が出ない場面もありましたが、おおいに盛り上がりました。そして最後はみんなで「海」「七夕様」の合唱をし、楽しく終わることが出来ました。

ボランティアさんとの合同企画で開催できたことに深い感謝を申し上げます。

らくさい作業所＊日帰りレクレーション
「あべのハルカス」

皆が楽しみにしている年に１度の日帰りレクレーション。今回は７月１８日（火）にあべのハルカスへ行ってきました。行き先については、今回も利用者レクレーション委員が中心となって皆の意見をまとめて決定しました。

当日は、バス・電車を乗り継ぎ約２時間かけてハルカスに到着。到着後はさっそく自由行動。多くは展望台へ上がりましたが、お腹が空いて仕方ない食欲旺盛なグループは先に昼食へ。

展望台では約３００ｍの景色に驚き、物珍しい限定のお土産に皆興味津々でした。昼食はうな重や焼肉、トンカツにハンバーグ等それぞれが希望した物を食べ、お腹いっぱいになりました。

お腹いっぱいの中、次は恒例の喫茶タイム。ソフトクリームやワッフル、ケーキにコーヒーと、それぞれが思い思いの時間を目一杯過ごしました。

中心となって頑張ってくれた
レクレーション委員さん、
お疲れ様でした。

委員さんの感想

- 展望台からの景色がよかった。
- 初めての委員で戸惑いもあったが、うまくいったのでよかった。
- 去年の委員から引継を受けて、特に問題なくスムーズに行くことが出来てよかった。

三療事業部だより

らくさい治療院

『ビジネスマナー講座★ドキドキワクワクな利用者さん』

６月２７日（火）、ビジネスマナー講座を開催しました。

健診と避難訓練が終わり、いよいよビジネスマナー講座が迫ってきている中で、利用者さんのテンションがどんどん上がり、部屋の中は熱気で充満していました。ドキドキワクワク感がこちらまで伝わってきます。今まで見たことのないみんなの雰囲気に、職員も影響されていたような気がしました。事業計画にビジネスマナー講座の開催と書いてから３年越しの夢が叶い、利用者さんにやっと情報提供の機会ができてほっとしたところです。

今回は、外部から講師を招き、接客と会話術のセミナーです。素直な気持ちで講座に向き合っている人、照れくさそうにしている人、どこか抵抗している人など、講座に取り組む姿勢に個性があり、始めと終わりの表情や雰囲気の違いに驚かされました。普段からグループワークや面談などを通し、何度も聞いている言葉も、外部の方からストレートに伝えられたことで、それぞれ心に響いていたのではないでしょうか。

情熱と愛の塊のような講師の先生から、こんな厳しいお言葉を頂きました。

「お客様にとって自分の体をマッサージしてくれる人に、障害のあるなしは関係ないのです。自分に寄り添ってもらい、満足感・治療効果があり、そして体が楽になってはじめて、対価としてお金を支払っているのです。みんなはプロフェッショナルなんですよ」と。この瞬間、部屋の中は緊張感たっぷりに。

今回の講座は初めての試みでしたが、「相手の立場に立つ」ということが大きなテーマでした。見えないと言うことは情報不足になります。情報障害と言ってもいいのかもしれません。その情報を得るために、いろんなサポートが必要となります。どうしても相手に合わせてもらう機会が増えますが、これがずっとずっと続くと、合わせてもらうことが当たり前になってしまい、こうなると相手の立場に立つことが難しくなります。だからこそ情報提供の機会が必要であり、そして、何度も経験を積み重ねていくことが重要だと思っています。

また、客観的な情報をどう伝えていくか、自分がどう伝えてもらえたら受け入れられるか、この講座を振り返りながら、再度「支援とは」を考えたいと思いました。

一生懸命講座に取り組んでいる、利用者さんの笑顔と明るい声が、また感じられますように。

職員のスキルアップ研修も行っています！

７ 月は虐待防止についての研修会を開催。外部講師をお招きし、日々の支援を思い浮かべながら真剣に学ぶ場となりました。

新人利用者紹介

《 らくさい作業所 》　佐野志さん

４月に入所しました佐野志です。洛西寮に来て、ちょっと慣れてきました。居室ではラジオを聞いて過ごしています。僕は、身体を動かす事が好きで、バレーボール、水泳、野球、卓球等のスポーツが大好きです。水泳大会では、３位になったこともあります。今もバレーボールをしています。

《 らくさい作業所 》　加藤純さん

４月より、らくさい作業所で、新聞紙を丸めカバンに詰める作業や数珠玉通し等々、今までしたことのない様々な体験を日々しています。
これからもどうぞよろしくお願いします。

《 らくさい作業所 》　三浦豊子さん

縁あって洛西寮に入所させて頂いた、利用者の中で一番年上の三浦豊子です。
今までの生活とは全く違った寮での生活は新鮮で楽しいものです。ちょっとした工夫で目が見えなくても出来るお仕事があるとは知っていましたが、ここでは皆さんそれぞれ作業をしておられます。それなら私なりにも工夫して、どうすれば少しでも早く作業できるようにと考えながら作業しています。早く先輩の皆さんと同じように作業できるようになりたいと願っている今です。

職 員 の 異 動

	日　付	氏　名	所　属	
採用	12月26日	中野　裕美	らくさい作業所	（非常勤職員）
退職	3月31日	村岡　水知与	ちくりん	（非常勤職員）
異動	4月 1日	北　　広美	ちくりん → らくさい作業所	（主任）
異動	4月 1日	井上　雅博	らくさい作業所 → ちくりん	（主任）
異動	4月 1日	木下　美樹子	らくさい作業所 → ちくりん	（育休復帰）

ご寄附・ご寄贈　※1 月～7 月（五十音順・敬称略）

以下の方々より、ご寄附・ご寄贈を頂戴いたしました。ありがとうございました。

ご寄附（合計 175,916 円）

大芝幸雄　齋藤常子　坂本正伸　鈴木綾
西京地区更正保護女性会
平井多津子　水谷郁代　野間赳夫

ご寄贈（10 件）

今北よしこ　出原恵子　佐々木鶴代
生命の貯蓄体操　鈴木綾　田中美恵
富森大介　鶴岡キヨコ　西牟田さち子
吉田由起

♬編集後記♬　「コミュニケーション力」の必要性を感じる日々。決して得意ではなく四苦八苦しているのですが、自分自身を見つめなおすこと、まずはそこからなんだと感じています。（山下）

第32回 洛西寮まつり

平成29年9月2日（土）

11:00～15:00

《場所》京都視覚障害者支援センター　洛西寮

前　庭

模擬店コーナー

●焼きそば	300円	●たこ焼き(６個入)	150円
●からあげ３個入＆枝豆	150円	●かき氷	150円
●スティックパイン	200円	●ポテト	100円
●缶ビール	250円	●ジュース	100円
●スーパーボールすくい	１回50円	●ヨーヨーつり	１回50円

●洛友会ゲームコーナー
《くじ引き・ミニバスケットボール入れ》（景品あり）１回100円

クレープ屋さん♪『minamoto cafe』
※現金のみの販売

館内１階

洛西寮自主製品コーナー

●布製品・黒豆茶など
●まつりオリジナル製品あり

視覚障害体験コーナー

●点字で名刺を作ろう！
●アイマスク体験
（ビーズ通し・卓球バレー）
●機器紹介

らくさい治療院

鍼＆ホットピロー無料体験コーナー

●冷えでお困りの方におすすめ♬
場所:らくさい治療院（洛西寮から徒歩３分）
11:20～14:20
11：00～治療院にて整理券を配布

4階ホール

授産販売コーナー

●たんぽぽハウス《喫茶》
●リ・ブラン京都西京
●大原野の杜
●洛西ふれあいの里授産園
●はるの里

イベント

●洛友会合唱
●オカリナ演奏
●ゲーム大会
●抽選会

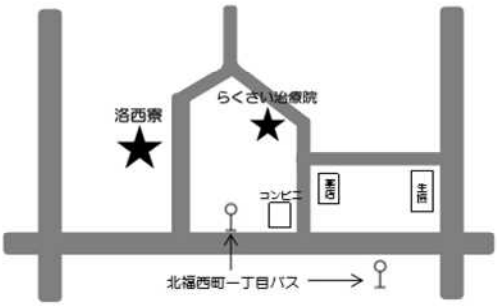
マッサージ無料体験コーナー

●椅子に座ってのクイックマッサージ♬
11:20～14:20（お一人様：約10分）
オープニング終了後、4Fホールにて整理券を配布

（福）京都視覚障害者支援センター　洛西寮
京都市西京区大枝東長町1-67　TEL:075-333-0171

交通アクセス

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
●阪急『桂駅』より〈市バス〉……西１・西２・西５系統
●ＪＲ『桂川駅』より〈ヤサカバス〉…１・２・３系統
〈市バス〉……西４系統・70系統
『北福西町一丁目』下車　バス停より徒歩３分



【主催】京都視覚障害者支援センター　【後援・助成】京都新聞社会福祉事業団、読売光と愛の事業団大阪支部
【後援】京都府視覚障害者協会、京都市社会福祉協議会　【協力】 みやびワイズメンズクラブ